

自治
定住課

ふるさとへのUターンを呼びかける

帰郷定住パンフレットを作成

市は、庄原出身の方にUターン（帰郷定住）を呼びかけるパンフレット「庄原へ帰る。」を作成しました。

若者世代をターゲットにしたパンフレットで、庄原での仕事や余暇の過ごし方、生活の満足感などについて、実際にUターンした7人にインタビューを行い、体験談を掲載。20〜30代の男女が、それぞれの目線から見た庄原の魅力が語っています。

成人式や同窓会など、出身者が集う場でパンフレットを配布したい方は、自治定住課定住推進係（☎0824・731257）までご連絡ください。



若者に帰郷を呼びかけるパンフレット
A4判カラー12ページ

商工
観光課

ぐるっと巡って!「SHOBARAぐるたび」

周遊観光ガイドブックを作成

本市の周遊観光を促進し、地域経済の活性化を図るため、周遊モデルコースを掲載した新たな観光ガイドブック「SHOBARAぐるたび」を作成しました。

誌面では、市内観光スポットに、カフェや温泉、宿泊施設などを組み合わせた周遊プランを提案し、庄原観光の魅力を分かりやすく紹介しています。また、庄原ふるさと大使・西田篤史さんのインタビュー記事やトレッキング、花めぐりの特集ページなどを設け、見どころ満載です。

旅行好きな女性をターゲットに観光スポットや料理の美しい写真を大きく配置して雑誌風に仕上げました。県内外の観光施設をはじめ、市役所や庄原市観光協会などで配布しています。



持ち運びにも便利なA B版28ページ

自治
定住課

本市の新たな担い手として3人を任命

地域おこし協力隊員

市は4月1日、地域おこし協力隊員として新たに3人を採用し、昨年からの活動している4人を任期延長しました。

「地域おこし協力隊員」とは、都市部地域から生活の拠点を移した方が、地方自治体から委嘱され、1年以上3年以下の期間、地域協力活動を行いながら、地域へ定住・定着を図っていく取り組みです。

地域の皆さんと一緒に活動していきまますので、あたたかいご支援をお願いします。

7人となった隊員は次の通りです。（敬称略）

- 新規任用／清水大介・上馬秀樹・柳原さおり
- 継続任用／高林直樹・森岡愛・門野淳記・藤田小百合



木山市長から激励を受ける地域おこし協力隊員

生涯
学習課

郷土の歴史に触れる一日

春休みこども歴史体験教室

郷土学習支援事業として実施する「たたら製鉄」体験が3月27日、久保善博日本刀鍛錬道場（西城町大佐）で行われ、美古登小学校と西城小学校の児童13人が参加しました。

児童は、日本刀製作技術（保持者）として市の無形文化財に指定されている久保さんの指導のもと、砂鉄と炭を入れる作業や、磁石を使い砂と砂鉄を選別する作業などを分担して行いました。6時間後に出上がった24・5kgの鉄を持ち上げ、重さに驚いたり、磁石をくっつけて確認したりと、興味津々の様子でした。また、勾玉作りも行い、地域の歴史を楽しく学習しました。

市教育委員会では、本年度も学校や地域で利用できる各種講座、体験メニューを用意しています。詳しくは、生涯学習課文化財係☎0824・731189まで。



鉄作りを体験する子ども

商工
観光課

新開発商品・料理に太鼓判

庄原市の逸品づくり事業「お披露目会」開催

庄原市の逸品づくり事業で開発・ブラッシュアップされた特産品や料理を紹介する「お披露目会」が3月30日、国営備北丘陵公園エントランスセンター「くにかね」で開催され、開発者など90人が出席しました。

まず、特産品コーディネーターの碓孝洋さんが講演し、「産品の販売促進を行う上で、多くの魅力ある産品を一体的に売り込んでいくことが重要。チャンスが逃がさないようスピード感を持って取り組んでいく必要がある」と長崎県平戸市の事例を示しながら、わかりやすく語りました。

続いて、特産品29品目、料理14メニューの見学会に移り、開発者自らが、試食などを交えて特産品や料理の紹介を行いました。出席者からは「どれもおいしく特徴のあるものばかりで、とても興味深かつ



講演する麻さん

た」新しい庄原の魅力が増えて、料理を食べに行ったり、特産品を買いに行ったりしたい」と話していました。

料理の部でメニューを考案した百姓庵「紡（つむぐ）」の名越千春さんは、「この事業を通じて、さまざまなことを指導していただき、とても勉強になった。また、多くの開発者の方々と交流ができた刺激になった。今後も、皆さんに楽しんでいただけるものを提供していきたい」と決意を新たにしていました。

今回、開発・ブラッシュアップした特産品や料理を紹介するパンフレットを作成しています。興味のある方は、商工観光課または各支所担当室まで問い合わせください。

本年度も引き続き、庄原の逸品づくり事業に取り組みます。



見学会の様子

情報
政策課

年間グランプリ決定!

庄原いちばんデジタルフォトコンテスト

市公式フェイスブック「庄原いちばんええね!」上のイベント、平成26年度庄原いちばんデジタルフォトコンテストの年間グランプリ・準グランプリが決定しました。

「あなたの庄原いちばんを教えてください」をテーマに、庄原の風景・風物写真を前期・後期に分け募集。前後期合わせて68人、250点が出品され、前後期の入賞作品の中から次の作品が選ばれました。

- 年間グランプリ
立花敏之さん（三日市町）
作品名・茜色の街へお帰り
- 年間準グランプリ
森原泰子さん（広島市佐伯区）
作品名・ちびっこちゃん通ります



木山市長から賞状を受け取る立花さん(右)

企画課

市の発展へ地元金融機関とタッグ

広島みどり信用金庫と包括連携協定締結

市と広島みどり信用金庫は4月13日、市内における地域活力の増進、産業の振興および市民サービスの向上を図ることを目的に、包括連携協定を締結しました。

今後、本協定に基づいて、相互の持つ知的、物的、人的資源を活用した取り組みを推進します。

広島みどり信用金庫の森信正敏理事長は「地元の金融機関として、市の発展に貢献できれば」と話し、木山耕三市長は「庄原市にとって意義ある協定。さらにもう一歩ではなく、一緒にやろう」という初志を忘れず取り組んでいきたい」と述べました。

なお、県内市町で金融機関と連携協定を締結したのは、庄原市が初めてとなります。



協定書にサインし笑顔の木山市長と森信理事長

教育 指導課

新1年生はニコニコ！

市内小中学校で入学式

●平成27年度児童生徒数見込一覧表(単位:人) 平成27年4月1日現在

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
小学校							
庄原	62	54	49	64	62	62	353
永末	4	8	7	6	9	9	43
高	10	8	10	7	7	8	50
峰田	10	7	9	11	7	4	48
板橋	25	35	32	27	26	26	171
東	13	27	19	27	18	24	128
山内	6	9	10	10	7	17	59
川北	1	4	7	2	3	2	19
西城	17	13	19	23	15	22	109
美古登	3	20	6	16	10	5	60
小奴可	5	8	10	5	3	3	34
八幡	4	4	3	7	2	7	27
粟田	2	2	7	1	5	4	21
東城	40	50	33	42	46	46	257
口南	10	12	10	6	9	5	52
口北	10	5	6	4	5	9	39
高野	13	12	13	21	15	14	88
比和	12	4	9	10	7	13	55
総領	10	9	8	11	10	13	61
小計	257	291	267	300	266	293	1,674
中学校							
庄原	126	158	125				409
西城	37	14	28				79
東城	65	64	74				203
口南	20	15	19				54
高野	12	21	13				46
比和	7	6	10				23
総領	16	15	18				49
小計	283	293	287				863
総合計							2,537

市内26校の小・中学校で4月6日、入学式が行われました。10人の新1年生を迎えた口北小学校では、久保眞理子校長が祝いの言葉を贈り、その中で新1年生と3つの約束



入学式の様子(口北小学校)

その後、全校児童で『春が来た』と『春のまきば』を元氣よく歌い、新1年生を歓迎しました。とても和やかな入学式でした。本年度、本市の小学校19校に入学した新1年生は257人、中学校7校には、283人でした。

をしました。一つ目は、友だちと仲良くし命を大切にすること。二つ目は、元氣なあいさつをすること。そして三つ目は、人の話をしっかり聞き、楽しく勉強することです。また在校生29人を代表して、児童会長の熊谷優花さんが、「あいさつ日本一」の学校、掃除や給食などの縦割り班活動、忘れ物0作戦など、口北小学校で取り組んでいることを紹介しました。併せて、釜峰山への全校遠足や運動会、誕生日会など楽しみな行事を紹介しました。

生涯 学習課

将来のアスリートを養成

アスリート(陸上競技)教室が開校

陸上競技のアスリート養成を目的にした教室が4月16日、スタートしました。この教室は、第2期庄原いちばん基本計画に掲げている事業で、1年を通じて市内小学生を対象に陸上競技の専門的知識を有する指導者が指導を行い、将来オリンピックピクなどを活躍するアスリート養成を目指します。同日、庄原市上野総合公園陸上競技場で開校式を行い、市内の小学3〜6年生56人が参加。山内小6年の奥優一くんが「トップアスリート目指して、一年間がんばります!」と、力強く選手宣誓を行いました。



参加者全員でランニング

教育 総務課

眠っていた備品に光を照らす

休廃校学校備品販売イベント『廃校ノスタルジアin庄原』

市民グループや行政など5団体でつくる実行委員会が主催する「廃校ノスタルジアin庄原」が3月29日、旧田川小学校で開催され、市内外から約1600人が来場しました。休廃校後活用されなくなった学校備品を再び使われる場所に届けようと、実行委員は出品物の点検や会場の清掃など準備を進めてきました。当日は、廃校となった大屋小学校と始末小学校の備品なども含む約1800点を出品。そのうち約20点がオークション販売され、お目当ての品を求めて多くの人が会場に詰めかけ盛り上がりしました。そのほか、ワークショップや地元住民による飲食コーナーも設けられ、来場者は7年ぶりの開校日を楽しんでいました。



にぎわうオークション会場

生涯 学習課

市内の遺跡発掘の功績に感謝

古瀬清秀広大教授退官記念講演



花束を受け取りあいさつする古瀬さん

本年3月末で広島大学を退官した、同大学院文化研究科教授古瀬清秀さんの講演会を3月21日、帝釈峡博物館展示施設時悠館で開催しました。古瀬さんは広島大学学生時代から帝釈峡遺跡群の発掘調査に携わり、東城町の大迫山古墳などの調査を行うなど、市内の遺跡発掘、古墳研究で大きな成果を上げてきました。講演では庄原の古墳について楽しく、わかりやすく解説。市内外から訪れた70人は、教授として最後の講演となる古瀬さんの話に聞き入っていました。古瀬さんは「長年お世話になった東城の地で最後にお話ができ、また、地元の方々から花束までいただきたくは」と感激していました。帝釈峡遺跡群の発掘調査での成果の一部は、時悠館で常設展示しています。

国民健康保険総領診療所の所長として赴任した畑野悠医師が、4月1日から診療を開始しました。3年間勤務した舩田裕道前所長の後任となる畑野医師は広島市出身。平成24年4月から本年3月までの3年間、公立みつき総合病院で内科医として勤務経験があり、本年度から総領地域の医療を担います。診療は、家庭医として内科・整形外科・予防接種を中心にを行います。畑野医師は「地域の方が安心して生活できるように、医療・介護・福祉の面からお力添えをしていきたいと思っています」と話しています。

総領支所 新所長が診療を開始

総領診療所に畑野医師が赴任

4月から赴任した畑野医師



4月から赴任した畑野医師

商工 観光課

観光情報充実でリニューアル

「庄原観光ナビ」開設

「庄原観光ナビ」トップページでは、「花と緑」や「アウトドア」などを特集し、庄原らしいイメージを発信。本市の周遊モデルコースを紹介するほか、国営備北丘陵公園や帝釈峡をはじめ、グルメや温泉、おみやげなど観光客の興味度が高い項目を大きく紹介しています。市観光協会の福光勇蔵さんは「公開前後をアクセス分析したところ、閲覧者の滞在時間が延びるなど、効果が表れている。より使い勝手の良い内容にしていきたい」と意気込んでいました。

二社庄原市観光協会は、3月末から観光ホームページ「庄原観光ナビ」を開設しました。市の補助金を活用してデザインを一新し、リニューアル。観光客にとって必要な「観る・遊ぶ・食べる・買う・泊まる」の情報を掲載し、より検索しやすくなりました。



「庄原観光ナビ」トップページ

比和支所

中国山地を切り取る

中国山地豊かな自然写真コンテスト表彰式

3月25日、比和自然科学博物館主催による「第26回中国山地豊かな自然写真コンテスト」の表彰式が行われました。10代から80代の107人が応募し、応募総数346作品の中から36作品が入賞しました。推薦・庄原市長賞を受賞した三次市の千葉宏治さんは「長い時間をかけて待ったおかげで、偶然にもベニシジミがヒゴタイの花にとまった瞬間を撮影でき、自分にとって最高の1枚になった。受賞はともうれしい。これからも応募を続けていきたい」と喜んでいました。

推薦・庄原市長賞を受賞した三次市の千葉宏治さんは「長い時間をかけて待ったおかげで、偶然にもベニシジミがヒゴタイの花にとまった瞬間を撮影でき、自分にとって最高の1枚になった。受賞はともうれしい。これからも応募を続けていきたい」と喜んでいました。



進藤眞基館長(右)から表彰状を受け取る千葉さん